

## 豊能町過疎地域持続的発展計画（案）パブリック・コメントの実施結果

### 1. 実施結果の概要

- ・実施期間 : 令和8年1月6日（火）～令和8年2月4日（水）
- ・提出方法 : 総務部総合政策課への持参・郵送、電子メール、FAX
- ・提出人数 : 2名
- ・提出意見数 : 5件

### 2. 意見一覧

番号	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
1	・府域一水道を目指す水道企業団議会でも企業長がおっしゃっていますが、町としてどのように働きかけるのか。具体策はないのか。	8	第1章 基本的な事項 3. 豊能町における行財政の状況 (3) 主要公共施設等の状況	・本町としましても、府域全体の持続可能な水道事業の確立に向け、首長会議や近隣市町村等の意見交換の場などを通じて、問題意識の共有など、「府域一水道」に向け、働きかけていきたいと考えております。	変更なし
2	・特に地場産業もない中でふるさと寄附金目標額が高すぎる。基準値の倍以上であり、これくらい大きな目標を掲げないといけないのか。	14	第2章 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 目標値	・目標値は、過疎指定前である令和3年度のふるさと寄附額25,305,000円を参考に設定しています。返礼品の開発や内容の充実に取り組んでいきます。	変更なし
3	・平野部の少ない西地区において、広い小学校跡地は貴重な資源といえる。また、能勢電鉄、新名神、箕面グリーンロードにより比較的アクセスに恵まれた上記跡地の活用は人口増加の唯一の機会ではないかと考える。企業誘致が困難と思われるため、町は「福祉と教育の町」を目指すべきではないか。そこで、府や国との共同事業による近隣市町も対象とした大規模なケアハウス（老人福祉施設）へ転用してはどうか。事業収益以外にも、就労者の増加及び定住化など色々な効果が望めるのではないか。規制等の制約があり不可能かもしれないが検討いただきたい。	14	第2章 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 3. 事業計画	・学校施設等跡地の利活用については、自然環境や住環境に配慮しながら、民間事業者等による利活用を基本とし、地域の意向を尊重し、検討を進めていきます。 ・いただいたご意見につきましては、個別の取り組みに対する貴重なご意見として承ります。	変更なし

番号	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
4	図書館・シーツスの数値は、箕面森町等、町外利用者を含んだ数値か。	35	第9章 教育の振興 目標値	・いずれも町外利用者を含めた数値となっています。	変更なし
5	郷土資料館には、「高山右近」についての展示がほとんどない。	39	第11章 地域文化の振興等 1. 現状と課題	・郷土資料館における高山右近に関する展示物は、下記の通りです。 1. 高山右近年表 2. 高山城縄張り図、主郭写真、周辺図 3. 各地の右近像、生誕の碑、澤城、船上城跡、高槻城跡等の写真展示 15点 4. 右近関連書籍、パンフレット類 15冊 本町には、高山右近に関連する遺物や文献は皆無に近い状況であり、資料としては限りがありますが、町内の右近顕彰団体とも連携して、新しい分野での展示を充実させていきます。	変更なし